

## 仙人通信 215 兜山(916m)

兜山は、JR 中央線・春日居町駅の北側に座し、戦国時代の武将が着けた兜に似ている事から付けられた山名だそうで、山梨 100 名山の 99 番の山そして三等三角点の山である。春日居ゴルフ倶楽部入口手前にある兜山を示す道標に従い、ゴルフ場のヘンス沿いを反時計的に進むと梅沢に架かった橋があり、その先にある登山者用の駐車場(5 台程度) に車を置いて、ここから山頂を目指す事とした。

先の橋の手前にある道標に従い、沢に沿って下るコースで、山腹コースと書かれている。左手には檜林が又右手には檜等の木の先に瀬音を立てる梅沢が、その先には先程の林道だ。落葉で埋もれたコースを 15 分程進むと、名狩沢方面と兜山方面(岩場コース)の分岐である。緩やかな登りを 10 分程進むと 2m 程の岩があり、更に 10 分程で名狩沢の先に山が望める尾根コースとなる。足元では、芽吹いたばかりのコウヤボウキ・白い花を付けたアオダモや山桜、そして新緑の中にヤマゲラ・と春を感じる。15 分程進むと数 m もある大きな岩だ。岩殿山程ではないが岩壁が東西に伸びており、コースは正面にある岩の左側の鎖場である。幸い足元の岩や土はよく乾いており、滑る事は無かった。

5 分程で南面が小さく開け、甲府盆地の先に御坂山塊と富士山が顔を覗かしてくれた。

更に 15 分程鎖を頼りに岩場を登ると尾根だ。尾根は大小の岩で覆われており、その間を抜ける様に進む事 10 分程で、岩も無くなり更に 10 分程で山頂である。檜等の木葉に包まれた山頂には、山梨 100 名山の標木と三等三角点、そしてベンチが置かれていた。

西に伸びる尾根を 3 分程進むと、南面の木々が無い展望台で山梨富士見 100 景の標識・ベンチそして見える山波の上に山名が書かれた表示板だ。笹子の滝子山から御坂山塊の鍵掛峠までが望めたが、富士山は東側の一部が見える程度で殆どが雲の中と残念・・・。

それでも、望める峰々に思い出を重ねてノンビリと休憩して山頂に戻った。

兜山の山頂はこの峰の最高峰では無く、棚山寄りで等高線が 3 本程上にあるポイントだ。なだらかな尾根を数分進むと、駐車場へ戻る最短コースが更に数分進むと反対側に夕狩沢への下山コースの標識である。露出した岩の間を進むコースで、山頂から 20 分程で最高点である。岩の間には、紫のコスミレが迎えてくれた。岩堂峠と書かれた道標に従い、赤松の尾根を 5 分程下がると、南面の沢を挟んで一面が伐採されたポイントだ。ここからは檜や杉の林となり 5 分程で林道である。ここにはベンチが置かれ岩堂峠と駐車場を示す道標だ。駐車場へは山腹コースと書かれたこの林道を 40 分程である。瀬音を聞きながら、黄色のヘビイチゴ・タンポポやスマイル・ヒトリシズカ・マムシソウ・ヒメハギ等の花達と巡り合い春を感じて辿った 3 時間強(12000 歩)の山旅となりました。(R 3. 4. 1 2)

ゴルフ場入口から兜山 岩尾根コース

山頂

最高点

